

平成20年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成20年 1 月 9 日

上場会社名 株式会社エービーシー・マート 上場取引所 東証第一部
 コード番号 2670 URL <http://www.abc-mart.co.jp/ir/>
 代表者 役職・氏名 代表取締役社長 野口 実
 問合せ先責任者 役職・氏名 常務取締役経理部長 吉田 幸枝 TEL (03) 3476-5452

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (平成19年 3 月 1 日～平成19年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年 2 月期第 3 四半期	64,541	15.3	13,473	12.7	13,899	10.7	8,081	3.5
19年 2 月期第 3 四半期	55,974	17.0	11,954	12.5	12,553	8.4	7,804	△16.2
(参考) 19年 2 月期	77,768	—	16,331	—	17,669	—	10,043	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年 2 月期第 3 四半期	107.33	—
19年 2 月期第 3 四半期	96.84	—
(参考) 19年 2 月期	126.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年 2 月期第 3 四半期	70,539	44,237	60.6	567.30
19年 2 月期第 3 四半期	70,812	35,406	48.8	458.90
(参考) 19年 2 月期	73,866	37,903	49.8	488.29

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年 2 月期第 3 四半期	3,610	△5,013	△11,878	12,541
19年 2 月期第 3 四半期	△2,587	687	△2,900	20,730
(参考) 19年 2 月期	2,522	239	△2,457	25,839

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
19年 2 月期	円 銭 10.00	円 銭 14.00	円 銭 24.00
20年 2 月期 (実績)	12.00		
20年 2 月期 (予想)		18.00	30.00

3. 平成20年2月期の連結業績予想（平成19年3月1日～平成20年2月29日）【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	89,230	14.7	18,290	12.0	18,800	6.4	10,200	1.6	135.47

4. その他

- ① 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- ② 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- ③ 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国の経済は、引き続き雇用情勢の改善や堅調な企業収益は継続しているものの、原材料価格の高騰や米国経済をはじめとする資本市場への不信感が見られ、景気は回復基調が鈍化し、先行きの不透明さも増してきております。

シューズ業界におきましては、スポーツシューズの供給過剰が改善傾向にあり、大幅な値下げ競争にも落ち着きが見られるものの、原材料費等コスト上昇の影響や、景況感に伴う消費者の購買意欲の低下等が見られ、価格政策や商品政策の優劣により企業収益に格差が生じてきております。

こうした状況下当社グループは、積極的な出店、自社商品の拡充に努めるとともに、消費者の購買意欲を喚起する販売促進・キャンペーンに力を注いでまいりました。国内事業におきましては、年間62店舗の出店計画に対し、当第3四半期末までに63店舗の出店、4店舗の閉店を行い、国内店舗数は368店舗となりました。販売面につきましては、東京を中心とした都心部の路面店やファッションビルでの販売が好調となりました。商品面につきましては、キャンペーン打ち出しの効果が現れ、メンズでは高機能高単価のレザーウォーキングシューズ、レディースでは1万円前後のハイソールスニーカーやレディースブーツ等の売れ行きが好調となりました。特にハイソールスニーカーは季節に応じた素材やカラーの商品展開をしたことにより、レディースシューズのひとつの種類として認知され始めております。

これらの結果、当第3四半期での国内店舗の売上高は、全店（通信販売を含む）で前年同期比10.9%増、既存店で1.1%減となり、第3四半期末までの9ヶ月間の国内店舗の売上高は、全店（通信販売を含む）で前年同期比14.9%増、既存店で1.2%増となりました。

海外事業につきましては、連結子会社のABC-MART KOREA, INC. が、同社の当第3四半期末にあたる9月末までに8店舗の出店2店舗の閉店を行い、韓国において運営する店舗が39店舗となりました。なお、ABC-MART KOREA, INC. の決算日は12月31日であります。

品目別の売上高につきましては、レザーカジュアルシューズが前年同期比20.3%増の81億20百万円、レディースシューズが前年同期比31.3%増の71億22百万円と増収に貢献いたしました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高は前年同期比15.3%増の645億41百万円、営業利益は前年同期比12.7%増の134億73百万円、経常利益は前年同期比10.7%増の138億99百万円、当第3四半期までの純利益は前年同期比3.5%増の80億81百万円となりました。

事業別売上高（連結）

（単位：百万円未満切捨て、％）

区 分	前連結第3四半期 〔自 平成18年3月1日〕 〔至 平成18年11月30日〕		当連結第3四半期 〔自 平成19年3月1日〕 〔至 平成19年11月30日〕		前連結会計年度 〔自 平成18年3月1日〕 〔至 平成19年2月28日〕	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
シューズ関連事業	55,451	99.1	63,985	99.1	77,072	99.1
その他事業	523	0.9	555	0.9	695	0.9
合 計	55,974	100.0	64,541	100.0	77,768	100.0

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

品目別売上高（連結）

（単位：百万円未満切捨て、％）

区 分	前連結第3四半期 〔自 平成18年3月1日〕 〔至 平成18年11月30日〕		当連結第3四半期 〔自 平成19年3月1日〕 〔至 平成19年11月30日〕		前連結会計年度 〔自 平成18年3月1日〕 〔至 平成19年2月28日〕	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
スポーツ	29,934	54.0	33,722	52.7	41,249	53.6
レザーカジュアル	6,747	12.2	8,120	12.7	11,161	14.5
レディース	5,423	9.8	7,122	11.1	7,505	9.7
ビジネス	4,455	8.0	5,671	8.9	6,200	8.0
キッズ	2,768	5.0	3,275	5.1	3,752	4.9
サンダル	2,948	5.3	3,206	5.0	2,962	3.8
その他	3,173	5.7	2,867	4.5	4,240	5.5
シューズ関連事業合計	55,451	100.0	63,985	100.0	77,072	100.0

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における資産は、前連結会計年度末に比べ33億26百万円減少し、705億39百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ96億61百万円減少し、263億1百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ63億34百万円増加し、442億37百万円となりました。

資産の減少は短期借入金の返済による現金及び預金の減少が主な要因であり、資産の増加は出店拡大に伴う商品在庫の増加、店舗用不動産の取得等によるものであります。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

当第3四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物の残高につきましては、前連結会計年度末に比べ132億97百万円減少し、125億41百万円となりました。キャッシュ・フローにおける主な増減要因は、営業活動においては税金等調整前四半期純利益139億30百万円、たな卸資産の増加額40億63百万円及び法人税等の支払による支出71億34百万円、投資活動においては店舗の出店・改装に伴う有形固定資産の取得による支出47億28百万円及び敷金保証金の差入による支出11億23百万円、財務活動においては短期借入金の純減少額99億21百万円及び配当金の支払による支出19億57百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は予定通り推移しており、平成19年10月11日に公表しました業績予想の修正はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
法人税等の計上基準に簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（固定資産の減価償却の方法）

法人税法の改正（(所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日 政令第83号））に伴い、当第3四半期から平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。
なお、この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

（企業結合に係る会計基準等）

当第3四半期から「企業結合に係る会計基準」（企業会計審議会 平成15年10月31日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準第7号）並びに「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準適用指針第10号）を適用しております。

なお、この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て、%)

区分	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)		増減		(参考) 前期末 (平成19年2月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金	21,170		12,829		△8,340		26,016	
2 受取手形及び 売掛金	1,656		2,100		444		1,263	
3 たな卸資産	12,639		15,403		2,763		11,394	
4 その他	2,341		2,767		425		2,217	
貸倒引当金	△2		△0		2		△2	
流動資産合計	37,805	53.4	33,100	46.9	△4,704	△12.4	40,891	55.4
II 固定資産								
1 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	5,965		7,044		1,079		5,863	
(2) 土地	14,882		17,947		3,065		15,498	
(3) 建設仮勘定	271		258		△12		8	
(4) その他	820		897		76		785	
有形固定資産合計	21,939	31.0	26,148	37.1	4,208	19.2	22,155	30.0
2 無形固定資産	574	0.8	608	0.9	34	6.0	537	0.7
3 投資その他の資産								
(1) 敷金保証金	8,657		9,517		860		8,985	
(2) その他	1,835		1,163		△672		1,444	
貸倒引当金	△0		△0		0		△148	
投資その他の 資産合計	10,492	14.8	10,681	15.1	188	1.8	10,281	13.9
固定資産合計	33,007	46.6	37,438	53.1	4,431	13.4	32,974	44.6
資産合計	70,812	100.0	70,539	100.0	△273	△0.4	73,866	100.0

区分	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)		増減		(参考) 前期末 (平成19年2月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1 支払手形及び買掛金	8,620		8,269		△351		7,181	
2 短期借入金	22,592		12,847		△9,745		22,758	
3 未払法人税等	469		1,692		1,222		3,386	
4 賞与引当金	530		599		69		281	
5 その他	2,402		2,597		194		2,035	
流動負債合計	34,615	48.9	26,005	36.9	△8,610	△24.9	35,643	48.3
II 固定負債	790	1.1	295	0.4	△494	△62.6	319	0.4
負債合計	35,405	50.0	26,301	37.3	△9,104	△25.7	35,962	48.7
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金	3,482		3,482		—		3,482	
2 資本剰余金	7,488		7,488		—		7,488	
3 利益剰余金	45,682		54,045		8,362		47,921	
4 自己株式	△22,317		△22,318		△0		△22,318	
株主資本合計	34,336	48.5	42,698	60.5	8,361	24.4	36,575	49.5
II 評価・換算差額等								
1 その他有価証券 評価差額金	112		73		△39		106	
2 繰延ヘッジ損益	32		—		△32		2	
3 為替換算調整勘定	71		△56		△128		81	
評価・換算 差額等合計	216	0.3	16	0.0	△199	△92.5	190	0.3
III 少数株主持分	854	1.2	1,523	2.2	669	78.4	1,137	1.5
純資産合計	35,406	50.0	44,237	62.7	8,831	24.9	37,903	51.3
負債純資産合計	70,812	100.0	70,539	100.0	△273	△0.4	73,866	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て、%)

区分	前年同四半期 (平成19年2月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)		増減		(参考) 前期 (平成19年2月期)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	55,974	100.0	64,541	100.0	8,566	15.3	77,768	100.0
II 売上原価	24,695	44.1	28,489	44.1	3,793	15.4	34,797	44.7
売上総利益	31,279	55.9	36,052	55.9	4,773	15.3	42,970	55.3
III 販売費及び 一般管理費	19,324	34.5	22,578	35.0	3,254	16.8	26,639	34.3
営業利益	11,954	21.4	13,473	20.9	1,519	12.7	16,331	21.0
IV 営業外収益	771	1.4	638	0.9	△132	△17.2	1,569	2.0
V 営業外費用	172	0.3	213	0.3	40	23.7	231	0.3
経常利益	12,553	22.5	13,899	21.5	1,345	10.7	17,669	22.7
VI 特別利益	1,067	1.9	148	0.2	△918	△86.1	1,067	1.4
VII 特別損失	208	0.4	116	0.2	△91	△43.9	338	0.4
税金等調整前 四半期 (当期) 純利益	13,412	24.0	13,930	21.5	518	3.9	18,398	23.7
税金費用	5,243	9.4	5,442	8.4	198	3.7	7,993	10.3
少数株主利益	364	0.7	407	0.6	43	11.9	361	0.5
四半期 (当期) 純利益	7,804	13.9	8,081	12.5	276	3.5	10,043	12.9